

【授業科目】感染看護学

Certified Nurse

担 当 教 員		開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィス アワー	教職員への 授業公開
奥村 恵美子、湯浅 圭望、杉山 要		4 年次 前 期	選択	1	15	講 義	あり	巻末 掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック方法	授業概要／感染管理に関する看護の役割や位置づけを学ぶとともに、感染管理のための各種予防策を、実習の体験をふまえ理解する。風邪はウイルスによる感染症、毎年猛威をふるうインフルエンザもウイルスの感染症です。実はがんと感染症も密接に結びついています。今日の病院内の感染症の様相およびそれらの感染症に関連する問題の特徴を踏まえた適切な感染防止方法について検討する。 課題に対するフィードバック方法／課題を課した場合には必要に応じて解説しコメント等をつけて返却する。								
実務経験に関する 授業内容	市立四日市病院感染管理認定看護師が看護師として必要な感染症や感染対策の知識について、現状の実践経験を交えながら教授していく科目である。								
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー②「人間の健康を環境との関係において捉え、地域社会の生活者の視点から看護の役割を考え、実践することができる。」の達成に寄与している。								
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	① 日常生活の中で切り離せない「感染症」や「感染対策」について正しい知識・方法がわかる。 ② 「感染症」や「感染対策」の本質を知り、考えたことを表現することができる。								
時間外学習に必要な 内容・時間	第1～8回事前学習：感染症について事前に調べておく。(各30分) 第1～8回事後学習：講義で学習した内容を復習しまとめる。(各60分)								
	※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。								
授業計画	第1回 感染管理の基本 ～標準予防策、感染経路別対策～ 第2回 手指衛生について ～5つのタイミング～ 第3回 人工呼吸器関連肺炎対策、ICUにおける感染対策 第4回 カテーテル関連血流感染対策、カテーテル関連尿路感染対策 第5回 感染管理活動 ～感染管理組織について～ 第6回 感染管理活動 ～アウトブレイク対応について～ 第7回 災害時の感染対策 第8回 感染看護と倫理							① 杉山 ② 杉山 ③ 杉山 ④ 湯浅 ⑤ 湯浅 ⑥ 湯浅 ⑦ 奥村 ⑧ 奥村	
評価方法 評価基準	授業態度（20％）ディスカッション態度（20％）、試験（60％）で総合的に評価する。								
教科書	操華子/川上和美「感染看護学」南江堂			参考書等	適宜紹介する。				
学生への 助言等	感染学を理解することで、人への感染防止につながりますので、是非履修してください。 授業中の飲食・教室の無断出入り禁止、授業中のスマートホンの取り扱い禁止とします。								